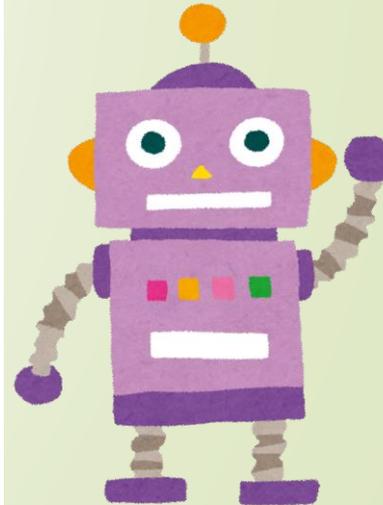


RPA (Robotic Process Automation) とは？

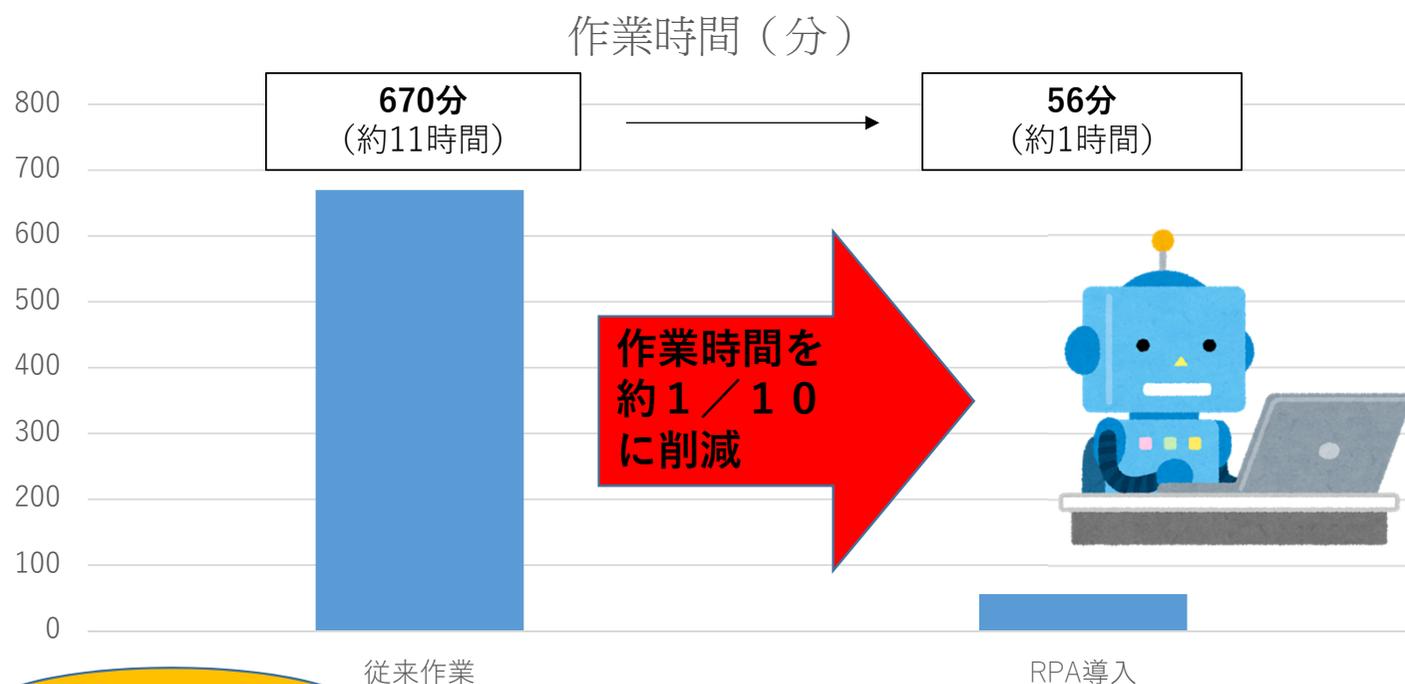
人間が行ってきた定型的なパソコン操作を
ソフトウェアのロボットにより自動化するツール

【具体的には？】

定型的かつ膨大な作業（特に繰り返し入力等を行うもの）が発生する業務について、その作業をロボットが自動でパソコンを操作してくれるもの。例えば、市民課窓口業務等について、RPAを活用し、定型的で膨大な業務プロセスの自動化を行った結果、年間85時間かかっていた作業が約14時間になった事例も！（約83%の削減）



削減効果（事中評価 各課内容とりまとめ作業）



作業時間の算出方法

全335事業の内容をとりまとめ用のエクセルに、貼り付けていく。様式は3種類あるため、内容ごとに貼り付ける内容が異なる。

Before

1事業あたり2分程度
 $335\text{事業} \times 2\text{分} = 670\text{分}$

After

1事業あたり10秒程度
 $335\text{事業} \times 10\text{秒} = 3350\text{秒} \div 60 = 56\text{分}$

財政効果

- ・ 人件費に換算 ⇒ 主任主事級の時給換算で年間19.2万円削減（1,600円/時間×10時間削減×12ヶ月）
- ・ 全所属（約50課室）で使用すると年間960万円削減（50課室×19.2万円）
- ・ RPA使用にかかる年間ライセンス料が273万円（10部導入 27.3万円×10部とした場合）

年間 約687万円の削減！！

